中部日本
戰時版

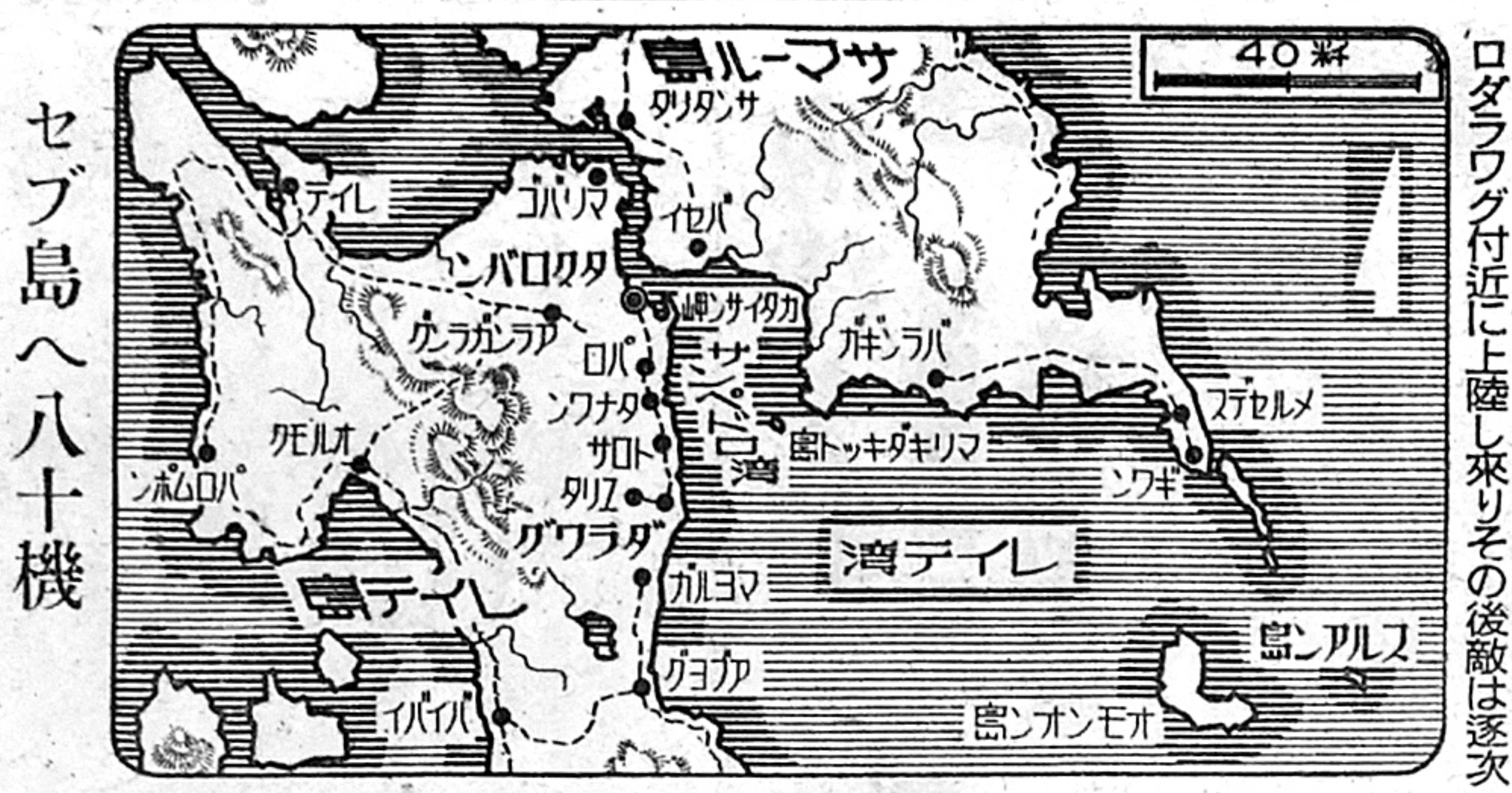
發行所
中部日本新聞社
名古屋市中區西川端町一ノ五
別館
岡[illegible]本町通二ノ二四

一ヶ月七十錢（一部）三錢

發行人・編輯人・印刷人 [illegible]

レイテ島の敵兵増強
ダラワグ上陸開始
我が猛邀撃に出血甚大

優勢なる機動部隊の支援下にレイテ島上陸作戰を開始した敵は十九日我が所在部隊のため一旦その出鼻を挫かれたが二十日大損害を受けつゝも強引にタクロバン南方地區に上陸、更に二十一日タクロバン南方約三十キロダラワグ付近に上陸し來りその後敵は逐次兵力を増強中である、所在のわが部隊はこれを邀撃し敵に大損害を加へつゝ敢闘をつゞけ敵の橋頭堡擴大意圖を嚴として封じてゐる、わが航空部隊又連日出動しレイテ灣付近の敵艦船を攻撃し多大の損害を與へてゐる



セブ島へ八十機
敵機ロタへも連日來襲

【南西太平洋基地廿四日發特電】廿三日午後比島西部セブ島に戰爆約八十機が來襲した

アンボン 二十二日朝アンボイナ島アンボンに大型、中型三十八機が來襲、わが所在部隊はその一機を撃墜した

バボ 二十三日朝ニューギニア西部バボに中型二十數機が來襲した

ロタ 【中部太平洋基地廿四日發特電】ロタ島には連日敵機の來襲があるが、廿二日にも小型二十九機が來襲した

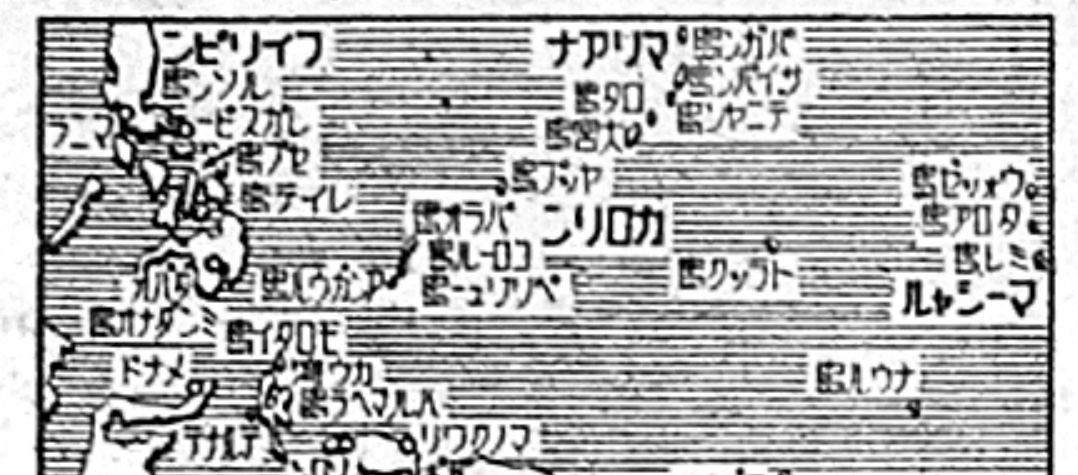
閣議 廿四日の定例閣議は午前十時十分より首相官邸で開催、小磯首相以下各閣僚出席、前田運通相より「陸上小運送一部改訂要綱」について報告散會した

南端の敵を分斷
モロタイ基地化を封ず

モロタイの所在部隊は敵上陸以來一ヶ月半、連日斬込み肉薄攻撃など皇軍獨特の攻撃戰法を發揮して敵の飛行場設營工事や既成敵飛行場の使用を妨害しつゝ大なる損害を與へてゐる、ことに同島南端海岸の敵橋頭堡はわが部隊の肉薄攻撃により遂に東西に分斷され その作戰に大なる支障を來さしめてゐる

ペ島に勇戰、要地死守

ペリリュー島の守備隊は東山、水府山、觀測山などの中央高地帶及びグアドプス島陣地を確保優勢な敵攻撃に對し一歩も譲らず勇戰奮闘を續けてゐる、ペリリュー島及びパラオ本島に對する敵機の來襲は比島方面の戰況激化に伴ひ最近低調となりわが部隊の拔刀斬込肉薄攻撃の威力は愈々發揮され敵は優勢なる兵力裝備を擁しながらわが兵の奮戰に困惑苦戰の色を次第に濃化してゐる、 ペリリュー島、モロタイ島のわが部隊は敵米の爪牙が比島に伸びる報を傳へ聞いて闘志一段と昂まり比島方面の戰況を有利化すべく敢闘を續けてゐる



敵、靈川を爆破

【廣西前線中尾報道班員二十三日發】廣西前線の皇軍は連日の霖雨を衝いて進撃してゐるがこゝ一週間わが第一線より靈川（桂林北方三十キロ）の方向に當り毎日のやうに爆音が聞え爆煙の立ち上るのが望見される、これは既に靈川の放棄を決意した敵が靈川市内外の軍事施設及び重要機關を破壊してゐるためと見られるが敗走に當つては一物も剩さぬ焦土戰術を常套手段とする敵の卑劣な行爲は憎みても餘りある、住民の言によるとこの焦土戰術の陰には米兵が執拗に使嗾してゐるとのことである

この一彈に敵機必墜を念ず

敵機必墜の闘魂をこめて彈丸を運ぶ比島〇〇基地の我が制空部隊勇士・電送

皇軍、龍陵に嚴然
敗走の敵、補充に狂奔

【怒江前線にて浜谷、徳永報道班員廿三日發】拉孟、騰越の二要衝を大なる出血の末辛くも手に入れた敵は龍陵をも攻略せんと雲南遠征軍の主力九個師の全力を傾注して猛攻に出たがこの敵の野望もわが守備部隊の鐵桶の布陣に脆くも潰え現在敵は龍陵芒市周辺に逼息、損耗した人員器材の補充に狂奔してゐる、拉孟、騰越を攻略した敵は龍陵攻略の虚報を放つたが我將兵による龍陵地區防衛の嚴たる事實には流石厚顔の敵も抗し難く遂に最近に至りこの虚報を取消しつゝ「龍陵東北正面において日本軍と對峙中なり」と發表して馬脚を現はすに至つた、敵の重壓下にわが防衛線を堅守した龍陵守備部隊は八月二十七日新鋭増強部隊の一部が敵中突破救援作戰に成功するや友軍部隊と協力して敵を逆に壓迫し龍陵不敗の防衛線を構成した、爾後一ヶ月余り龍陵の防衛に手を燒いた敵は拉孟、騰越方面の新手の部隊を龍陵北方に南下集結せしめたが損耗敗戰の色 蔽ひ難く自ら 戰線を整理して攻略どころかわが進撃を恐れ既に第二、第三の防衛線を構築してゐる、一方敵は龍陵周辺の敗殘部隊を糾合して芒市方面に轉用、わが龍陵守備部隊の後方を遮斷攪乱せんとする挾撃態勢に出たが、これまたわが新鋭部隊の先制攻撃に遭ひ敗潰するに至つた

世界の動き

米

太平洋戰用造船急げ

海軍艦船局長コクレーは廿三日「攻艦用船舶建造の遅延で太平洋作戰が支障を來してゐる、計畫では二日に五隻建造となつてゐるが造船工の不足で計畫よりうんと遅れてゐる」と増産を叫んでゐる（リスボン發同盟）

産業切替にカイザー

英國新聞はニューヨーク特電として廿三日、米政府は軍需産業轉換の指導機關に戰時動員余剰物資處分局を新設、局長は造船王ヘンリー・カイザーが任命されよう、カイザーの案は政府援助は極少とし民間大企業が軍需工場を買收するといふもので、英國産業が立直るところに全世界の市場にはアメリカ商品が氾濫しようといつてゐると書いてゐる（リスボン發同盟）

駐英大使も近く歸國

駐ソ大使の歸國につゞき駐英大使ワイナントも近くワシントンに歸るが、英ソ會談に對しルーズヴェルトが米國としての歐洲方策を練る爲たといふ（リスボン發同盟）

地中海軍へ米將任命

米陸軍前參謀次長アクナニは廿三日、地中海方面反樞軸軍副司令官に就任、同時に在佛米第六軍司令官を辭任すると發表された（リスボン發同盟）

反樞軸向食糧輸送額

米國は武器貸與法により反樞軸へ九月中に五億四千五百万ポンドの食糧を送つた、うち英國の分は約六割、主なるものはバター、チーズ、罐詰肉、ラードであつた（リスボン發同盟）

英

流星彈用高射機關砲

デーリー・エキスプレス紙は英軍秘密兵器の一つといふ廿ミリ高射機關砲につき發表した、一分間に四百五十發を發射、照準操作とも一人でよく他に彈藥手一名を要し流星彈邀撃に使つてゐるといふ（リスボン發同盟）

テンペスト機の性能

スイス通信報道はテンペスト戰闘機の性能その他を寫眞とともに發表した、タイフーンに似てゐるが翼端はスピットファイヤー式の円形型、翼巾十二米五、全長十米、高さ五米、二千馬力のネイピア・スーパー發動機をもち廿ミリ機關砲を裝備、時速六百キロの流星彈を追蹤攻撃できるといふ（チューリッヒ發同盟）

バルカン作戰を協議

チャーチルはソ聯からの歸途、カイロで英軍首腦とバルカン作戰につき協議したといふが、二十三日外相イーデンも立寄りエヂプト首相アーメッド・マヘールと會談、さらにトルコを訪れるといふ、なほアーメッドは三年前逮捕されてゐた實兄の元首相アリを釋放した（リスボン發同盟）

ガンヂー翁斷食豫告

ガンヂー翁は廿三日、ワルダの住居で「新たな斷食を必要とするやうな豫感がするので、友人と細目を相談してゐる、しかしこの斷食はインドの種族團結問題とは關係はない」と聲明した＝寫眞ガンヂー（リスボン發同盟）

フォードが無人機用發動機製造

米陸軍がドイツの流星彈に倣つて無人機を製作してゐることはすでに本社特電によつて報道されてゐるところだが、リスボンよりの同盟電はワシントン情報として陸軍省とフォード自動車會社が廿三日共同聲明としてフォードが無人機用ロケツト推進發動機を製造してゐると發表したがなほ試作程度だ

中小反樞軸國集

グ前大統領墨へ亡命

グアテマラ前大統領ポンセはメキシコに亡命、廿三日メキシコ市に向つたが革命で倅を殺されたといふ（リスボン發同盟）

佛

ド・ゴール政權承認

米英ソ三國とカナダ、濠州各政府は廿三日、ド・ゴール政權（正しくはフランス國民解放委員會）をフランス臨時政府として承認、米カフェリー、ソ聯ボゴモロフ、英ダフ・クーパーが各大使としてパリに駐在するとみられ、フランスとしては米國内の凍結資金九億ドル、マルチニツク島で米軍が押へた金塊六十億フランの引渡しが要求できるわけだ（リスボン及びストツクホルム發同盟）

ブルガリアで人民裁判

ブルガリア政府は元首相三名、前大臣二十五名、代議士百余名、高級官吏九十名を人民裁判の審理に廻した（リスボン發同盟）

對獨協力者に死刑を

ド・ゴール政權は對獨協力の罪名で十万以上のフランス人を逮捕裁判を行つてゐるが廿三日、パリ・ソワール紙主筆スアレスに死刑を宣告した（リスボン發同盟）

中立國だより

瑞典外交問題で國會

スウエーデン政府は外交政策討議のため卅日國會を召集する（ストツクホルム發同盟）

偽政權の蠢動

イタリアの新通信社

イタリア偽政權下のローマにイタリア放送電信通信社が生れたと廿一日發表された（リスボン發同盟）

阿部信弘中尉
朝鮮總督令息
體當り空母撃沈
ニコバルに戰闘機奮迅

【前線基地二十三日報道班員發】わが航空部隊がニコバル諸島に來寇せる敵英機動部隊を邀撃してその四隻を撃沈破したことは廿日大本營から發表された通りであるが戰闘經過概要は次の如く判明した

阿部信弘中尉

英機動部隊は米機動部隊のレイテ灣侵攻と時を同じうして十七日朝來カーニコバル島に近接し來つたがわが航空部隊は十九日勇躍出動、赫々たる戰果を收めた、即ちこの敵を撃滅するの任務を受けた丸川部隊の〇機は十九日〇時〇〇基地を飛出し戰闘機〇機宛〇個編隊をもつてカーニコバル島に進出十二時二十分頃カーニコバル島東南方の敵上空にさしかゝつた丸川大尉機へグラマン戰闘機約二十機が正面から襲ひかゝつた、わが方は不利の態勢にあつたが約三十分に亘り猛烈な空中戰を敢行、撃墜四機不確實七機計十一機といふ戰果を收めたほか炎上沈没巡洋艦、驅逐艦各一隻を確認した、この間阿部信弘中尉の指揮する編隊は最も上空を飛翔し隊長機からは確認出來なかつたがカーニコバル島陸上より確認したところによれば十二時二十分ごろ敵機發見と同時に一時空中戰に入つたところ敵機の攻撃を振りはなして低空に入りインドミタブル型敵空母に急降下機體を魚雷の代りと敢然突ッ込み敵空母は一瞬黒煙に包まれたが黒煙が逸散した時二万七千トンの敵空母の姿は既に海上に見えず斯くして阿部中尉は戰闘機一機をもつて空母を撃沈し去り戰史未曾有の偉勲を樹てたのである時に十日十二時三十分、また阿部編隊の第二番機は十二時四十二分敵驅逐艦に體當りして之を撃沈し、續く三番機も敵戰艦に體當りしてこれを大破せしめたのである

台灣暴爆
死傷七百

去る十二日から十四日にかけて台灣に對する空襲被害で今日までに判明したものは▲非戰闘員死者三百八十一名、負傷三百四十八名▲民家喪失または破壊一千九百四十九戸で敵は第一次に飛行場生産施設、第三次には一般市民に對し無差別爆撃による殺戮を企圖したこと正に明らかである

お城前
八重垣劇場
逢に來る！樂しき大音樂映畫！
維納物語
明日封切
音樂の都ウインに花と咲くロマンス
ウイリー・ホルスト演出主演
マリア・ホルスト共演

筆陣

ある工場で、作業中の負傷について身体の局所別に調べたところによると、最も多いのは左手、次は左足、三番目が眼以下右手、胴体、顔、上肢、頭といふ順序である。作業の種類にもよるが、災害防止上參考となる點が多い。

× ×

敵米國では、開戰以來軍需工場の負傷四百八十五万余件に上り、うち致命傷が三万七千、重傷不具が廿一万九千、一時的負傷が四百六十万であるといふ。万事大袈裟にいひふらす米國のことではあるが、厖大な物量の陰に相當の犠牲のあることが想像され、一面また勞務を消耗品視して酷使する敵國經濟觀念の一端とも見られる。

× ×

工員が作業に就く前に社長が工場を廻つて機械を點檢してスヰッチを入れる某工場は無事故を誇つてゐる。一人の負傷も直ちに全体の作業を停滞させる。職場では自分の身体であつて自分一人のものでないことを知らなければならない。

働く女性の問題

前線 勇士の運命
私達の努力如何に懸る …②…
川上嘉市

工場、事務所等で大勢と一緒に勤務する場合の心掛けは第一に規律秩序を重んじ、よく上長の命を守り、忠實にそのいひつけを實行することである。學校を出たばかりの若い女子達にはまだ學生氣分が拔け切らないため仕事の手を止めて隣の人と無駄話をしたり、仕事をしながら無駄口をきいたりする者があるが、こんなのは最もいけない。

仕事に 對して注意と熱意がないからよい仕事が出來ない、操作はする、能率は上らず、物を無駄にするといふ結果となつて工場の秩序を紊すのみならず、他の同僚の勤勉を妨げる。今我々が從事してゐる仕事はそんな遊び半分の仕事ではない。我々の努力如何が前線で敢闘する勇士の運命を決するのだ。眞劍に傍目もふらず働き續けなければ學校を離れてまで勤務する理由がどこにあらうか。

工場で女子の事務員とか工員が作業時間中に二人連れ立つて手を引いて話をしながら歩いてゐるのをみうけることがあるが、かういふ人は必ず怠け者であると斷定してよい。何となれば二人の人が同時に同じ場所へ用事のある筈がない、もしありとすれば一方の人にその仕事を託して一人でいけば濟むはずである。それを二人が結び合つていくのは結局遊び半分の氣持が潜んでゐるからである。怠ける人は國家に對して損をかけるのみでなく結局は自分が一番損をする。

職場で は各自が充分にやらないと集團の力が出ない。次に仕事をしながらも常に向上工夫をする心がけが必要である。向上心のないところに良心的な成果は望むべくもない。更に勤務に當つては仕事を本當に親切にやることが必要である。いくら器用に造られてゐても親切心のない仕事は魂が入つてゐないから必ず缺陥を現すことになるのである。

二五％の能率向上
藝能慰問の効果忽ち現はる

決戰下の撮影所生活

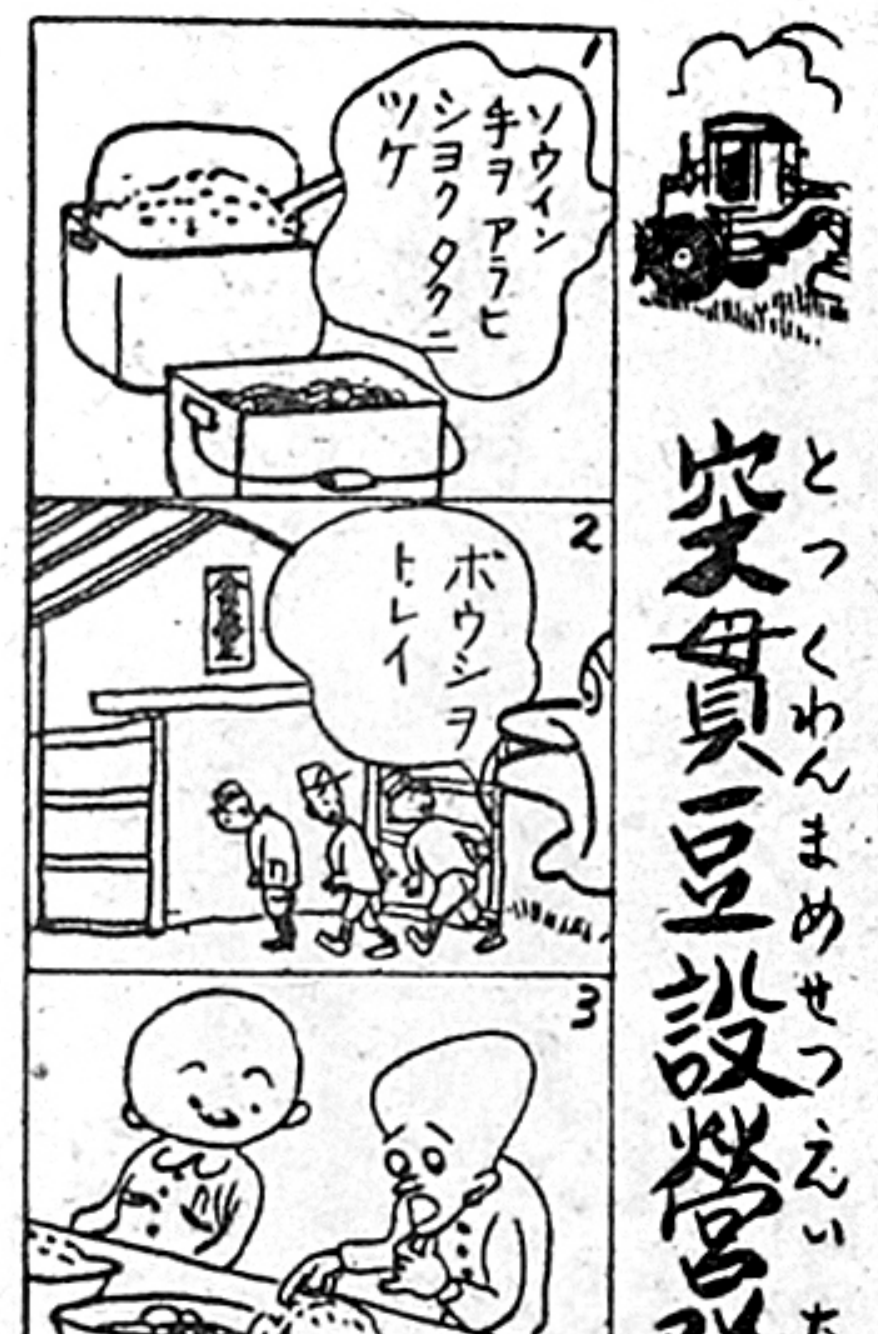
かつては「虹の都、光の都、キネマの世界」と謳はれ、恰かも"歡樂の市"の如き存在であつた映畫撮影所――それは既に遠い遠い過去の影像として葬り去られた。決戰下の撮影所もその面貌を一新した。映畫が思想戰の彈丸ならば映畫人も國家戰線の尖兵でなければならぬと撮影所もいま戰つてゐるのだ。以下逢初夢子（大映）橘公子（大映）鈴村京子（東寶）に聽く"決戰下の撮影所生活"の一齣――【寫眞は左から橘、逢初、鈴村の三優】

映畫の製作本數が戰前に比べて減少した結果、必然的に生じた余暇を最も有効に使はうと撮影所員は努めて藝能慰問に出動してゐる。大映はいま陸軍航空本部の嘱託となつて工場、鑛山へ、その他白衣勇士、遺家族の慰問に出動し、東寶は東部移動演劇本部の統制下にこれまた各方面へ出動してゐる。幸ひなことには映畫人は映畫の持つ普遍性からどんな山間僻地へも顔が賣れて居り馴染みが深いので非常に喜ばれる。或る工場など慰問に行つたその翌日から二十五パーセント能率が向上し、おほめの言葉を頂いたこともある。

＊**以前** は遊山旅行のやうな樂しみもあつた出張撮影も慰問行も現在では總員決戰服裝にリユツクサツクを背負つての強行軍だ。汽車はどんな大幹部も全部三等に揺られて行き、團体行動に終始していやしくも買出しに類する行爲は一切許されない。山の中へ出張撮影の折などお米持參で行くが、それでも仕事の都合で日が延びたりするとろく／＼食はずに歸ることさへある。

＊**ひと** ころは女優といへば"おしやれ人種"の標本のやうであつたが、今は殆んどモンペでむしろ一般の人より遥かに地味だ。現に東北の某鑛山へ行つた時など女優の質素な姿ひに感化？されてその日から女子工員の服裝がすつかり變つたといふ佳話も生れてゐる。また八日の大詔奉戴日には大映婦人部全員で慰問文を必ず書くことになつてゐる。繪、寄せ書、歌などを書き送るのだが一人で十數通書くことも珍らしくない。でもこの手紙が第一線の兵隊さんを喜ばせるのだとみんなハリキツて書くといふ。

突貫豆設營隊（とつくわんまめせつえいたい）
池田さぶろ


1
ソウイン テヲ アラヒ ショク タクニ ツケ
2
食堂
ボウシヲ トレイ
3
4
オカニ オテフネヲ コクノハ ダレダッ

補給線の弱點を暴露
米護送艦艇太平洋へ回航

軍事解説

リオデジャネイロ來電として米誌タイムが報ずるところによると、ブラジル海軍が南西大西洋水域の哨戒任務を擔當し、同方面の米艦隊は太平洋に回航されるであらうとのことである。ブラジルの現有艦艇勢力はアルゼンチン、チリなどと殆ど同程度らしく戰前勢力は戰艦二、巡洋艦二、驅逐艦八、潜水艦二、掃海艇ならびに特務艦各數隻といつたところ、これに最近米國から舊式驅逐艦若干隻の讓渡を受けたと傳へられるが、いづれも舊式艦で、いはゆる近代海上勢力として「海戰」に參加し得るものではない。

しかしこれでも大西洋に出動したとなれば、いくらか敵大西洋補給路の保護にも役立つであらうことは、現在の米大西洋艦隊勢力が舊戰艦三隻以下の護衛艦以外はとるに足りない舊式巡洋艦、護送驅逐艦、補助空母ながらそれで一應任務を果してゐる事實から見て明らかであらう。

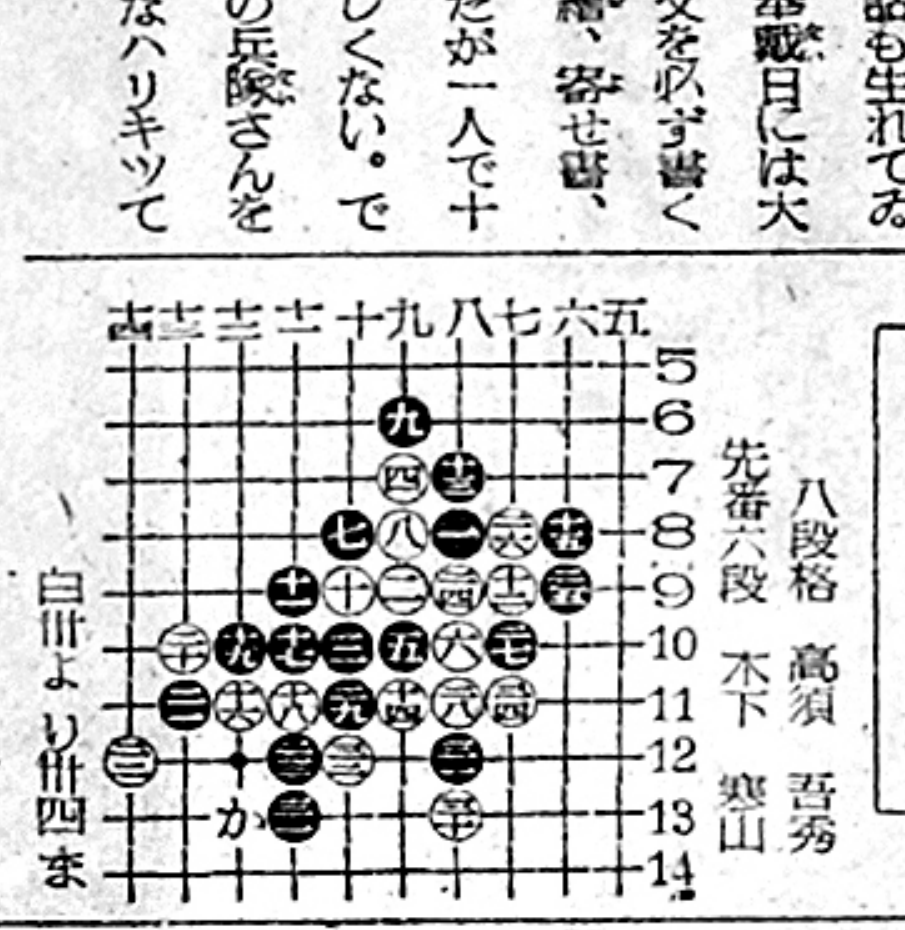
ところでこのことはブラジル艦隊出動によつて太平洋に回航し得る米艦艇勢力もまた微々たることを意味し、その微々たるものさへ必要とするほど米太平洋補給路が弱點に富んでゐることを物語る。大西洋で補給路保護に任ずる米補助空母を約三十隻とすれば、全空母數を百隻としても太平洋は戰闘用二十三隻以下合計七十隻、そのうち戰闘用を主とする十九隻を台灣沖航空戰に撃沈破され更に比島方面に相當數を出動させてゐる現在殘余の長大補給線保護に任じ得るもの果して幾何？――かくてブラジル舊式海軍の出動となり大西洋上の米護送艦艇の回航が云々されたのだからこの外電はわれわれにとつてはますます必勝を確信せしめる以外の何ものでもない。

微笑む職場
※第十二話※

滿員電車が公園前で停つた。ドツと降りる人が一度に入口へ押しかける。乘る人と降りる人で狭い乘降口はゴツタ返す騒ぎである。小柄な學徒車掌は乘客を整理するのと乘換切符を渡すのに汗ダク／＼「モシ／＼あなた切符は？」子供を背にして降りて來た婦人を彼の小柄君は呼び止めた「切符は無いのですが…お金でよいんでせう」「規則が改正されてお金ではいけないのです。どなたかに分けて貰つて下さい」こんな押問答をしてゐる中に乘客は全部乘つてしまひ後尾にゐるこれも學徒の車掌君が發車の合圖をしたので電車は小柄君を置いてけぼりして出て行つた交叉点を越した時に乘客の一人が「オイ車掌君をこぼしてきたぞ」と呼ばつたので車中大笑ひ。置き去りを喰つた車掌君は息をセカ／＼させてやつと降つた電車に追ひついた「どうしたんだ」後尾の車掌がきいた「切符がないお客さんのために色々ねてゐるとこを君が發車合圖をするからいかんよ」「さうか君はもう乘つたもんと思ひ込んでゐたよ」「ひどいぞ、お陰で冷汗やら大汗やらこの通りビタ／＼だ」「失敬々々」「幸ひ學校の者はゐなかつたやうだが、誰にもいふなよ、冷かされるからな」「斷じていはんぞ」こんな會話の中に電車は東新町へ着いた。降りしなにさつきの乘客が「車掌さん今度はこぼされないやうにしなさいよ」と笑ひながらいつた。車掌君は頭をかきかき混み合ふ乘客の中へ姿を消した。小野實

置き去り

聯珠特別戰 ⑧
八段格 高須吾秀
先番六段 木下寒山

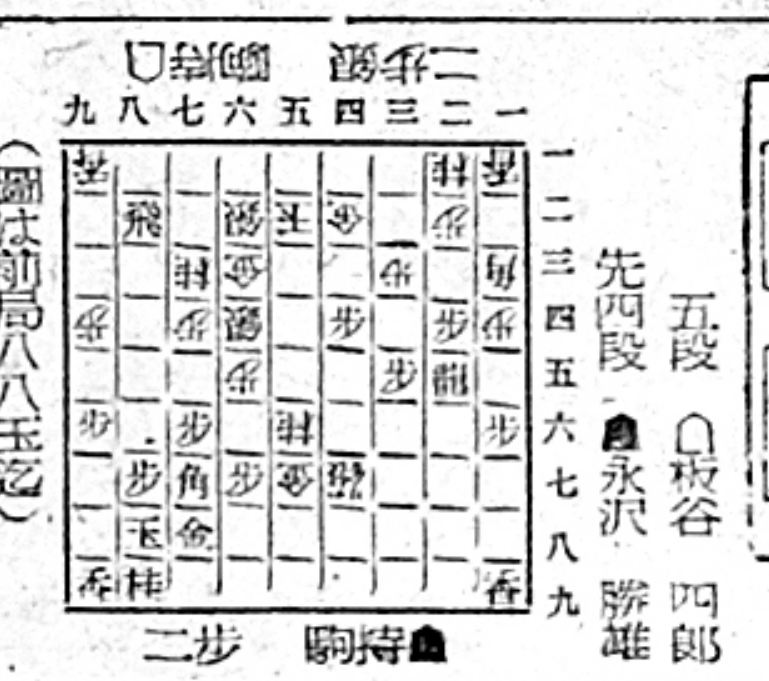


白卅より卅四まで

觀戰評 名人 高木樂山

白十八はかうなつては無理であつても引かねばならぬであらう。黒十九を單に（二九）に應じてゐられゝば、その方が自然の形だが、それなら白次に（三二、十九）の順に進むであらうから、結局（か）の点に黒「三々禁絶負」が出來るので、この十九、廿一、廿三の手順は至當だ。白廿四、廿六の手順は、黒に活路を殘す不利があるから、廿四を單に（二六）に打つて見たかつた。黒廿七は、飽くまで大事をとつたものであらう、惡くない。白廿八、卅、卅二、卅四の順は卅で（三四）に打ち黒の動きを見たかつた。何となれば、その場合黒として追勝を敢行すべき手順がないからだ。

將棋 ⑯
五段 ☖板谷四郎
先四段 ☗永沢勝雄



（圖は前局八八玉迄）
☖七五歩 ☗三四歩 ☖五三玉
☗三三歩成 ☖同 金 ☗三四歩
☖四四金 ☗三三歩成
（指手百二十一手）

解說 七段 大和久彪

消費時間 ☖三時間五十二分 ☗四時間二十六分

永沢氏の勝負手の狙ひ、これは自玉を一時小康狀態にした後、二五飛及び七七角を攻撃に用ひて敵玉前にある四四歩を足場として最後の一戰を試みんとするにある。從つて板谷氏が七五歩と突いたのは角頭の攻撃といふより、八六角と出られて銀の質駒を見られるのを未然に防止した手段なのだ。優勢に驕らぬ細心の注意は更に五三玉と自重で永沢氏に勝負の機會を與へまいとする賢明な方針だ。

その一線【52】
北村小松
林唯一 畫

人は人でも（二）

「所が……」

と、和尚さんはつゞける。

「もし、こゝに、網を張つてゐる者が、ある、と、假定して見てだね、その者が、外部からの觀察を、ことさらにさけようとしたり、身をかくさうとしたり努力してゐるとしたら、こいつには、相當の理由がなければならない、と、かう考へる事が出來るだらう」

「全くその通りだ」

と、源さんは、更に深くうなづいた。

「もし、こゝに身をひそめる者がある、として、而も、それが、こゝが"お化け屋敷"だと云ふ事を知つてゐるとすれば、先づ、第一に、こゝは、人の近づかぬ所だ、と云ふ事を條件として考へてゐる、と考へる事が出來る」

「うん、うん……」

「その上、もし、万一、誰かゞ、この屋敷の中を調べに來ても、一つとして人間が居住してゐる形跡を、つかめない樣に、御膳立てしてある、とすると、これは、徹頭徹尾、世間の目から、のがれようとする意圖だ、と、考へられるわけだ」

「うむ、うむ……」

「さうすると、さう云ふ行動をとる人間はさう云ふ行動をとる動機を、もつてゐる、と云ふ事になる。――一体、人間が、世間から身をかくさうとする動機は、何かと云ふ事を考へると、まづ"犯罪"と云ふいまはしい事が、誰の頭にもピーンと來るワね……」

「さうだね」

「それも、よく考へて見ると、二た通りある、と俺は思ふんだ。一つは、すでに罪を犯した奴が、かくれる場合と、もう一つは、これから、罪を犯さうと計畫してゐる奴が、身をひそめる場合と……」

「和尚さん、仲々、頭が鋭いね」

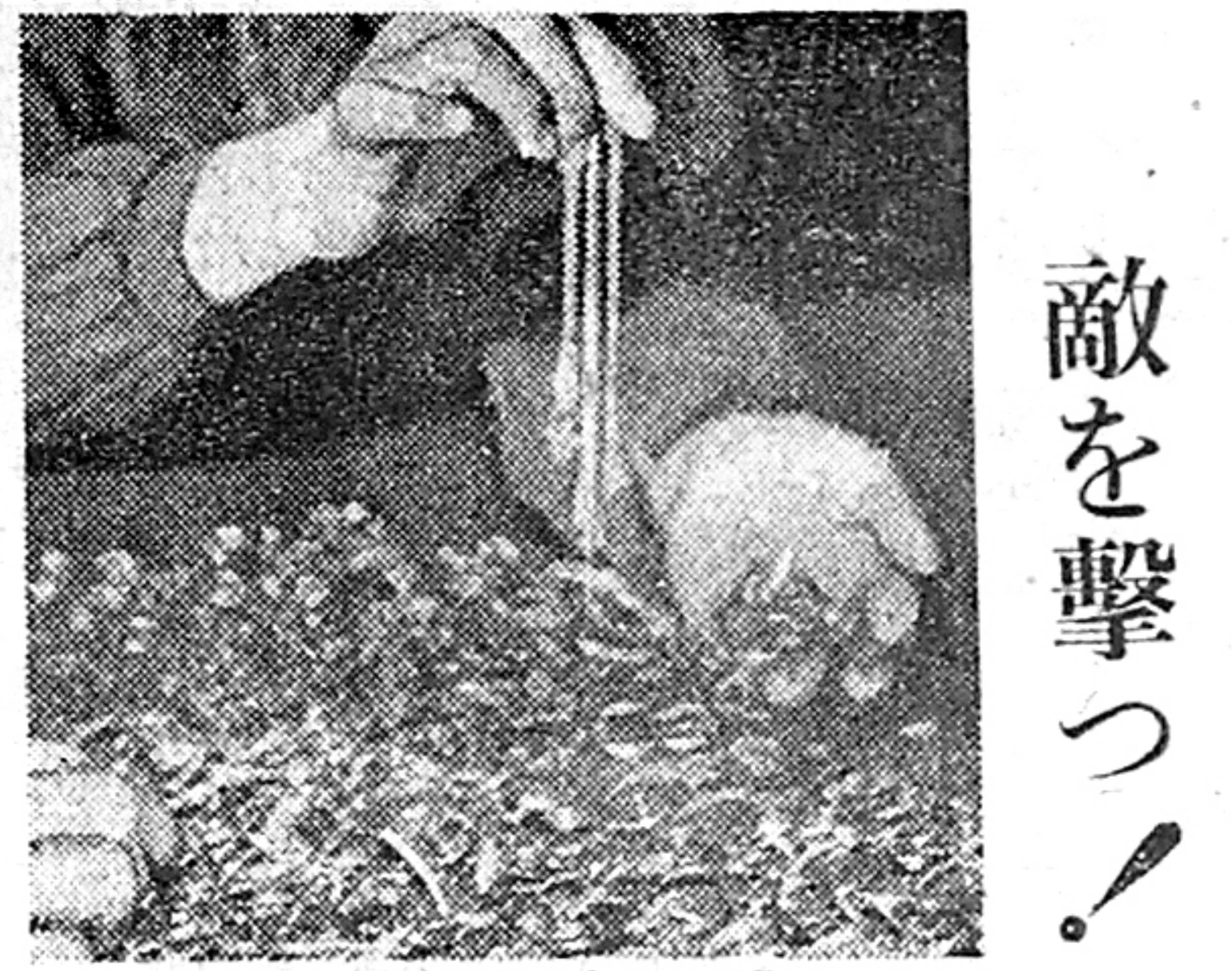
と、源さんは感心した樣に云つた。

「全くさうにちがひない。たゞの物好きや、厭世家が、この國家存亡の重大時局に、あんな所で、マゴマゴしてゐようとは考へられないからね……」

云ひながら、源さんが、すつてゐた煙草を たんねんに もみ消して、而も、草の少い地肌のある小路の方へすてようと、一寸体をのばした時だつた。

「おやツ……」

と、源さんはびつくりした樣に首をちゞめた。



この"白金"が敵を撃つ！

（寫眞は供出された赤心の結晶）

日本中の白金を根こそぎ供出して、一日も早く鬼畜米英を撃滅しませう。――

台灣沖でコッピドク撃ちのめされた獣敵は、その量を信じて比島へ侵寇策戰を開始し、この今も猛烈な戰闘が展開されてゐます、斷じて撃たねばなりません。この神機を失ふといふ事は、私達銃後の者の責任です、この際瞬刻も早く白金を供出される事は、それを持つてゐる人々の最大の義務であります、自分一人位はとか、こんな少しばかりとかといつた、ツマラヌ考へから供出を躊躇される人はサイパン島其他で戰死された英靈に對し申し譯のない事ではありませんか。

白金で機を摑め

獻納
愛知縣
大政翼賛會愛知縣支部
大同製鋼株式會社
取締役社長 下出義雄